

# 知と医療機器創生宮城県エリア

## 東日本大震災からの復旧・再生・発展を目指す産学官金連携による医療機器創生拠点の構築

### 総合調整機関

株式会社インテリジェント・コスモス研究機構（医療機器創生部）  
〒980-0811  
仙台市青葉区一番町一丁目9番1号 仙台トラストタワー22階  
TEL022-395-9791

### 参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…一般社団法人東北経済連合会、  
**株式会社インテリジェント・コスモス研究機構**
- 学…**国立大学法人東北大学**
- 官…宮城県
- 金…株式会社七十七銀行



プロジェクトディレクター  
**後藤 順一**

略歴：東北大学大学院薬学研究科教授、東北大学大学院医学系研究科教授（薬剤部長併任）、広域仙台知的クラスター推進本部事業総括兼研究統括等を歴任

宮城県には東北大学の豊富な医療機器シーズがあり、電子機械産業をはじめとする高度な技術を有する企業も数多い。そこで、産学官金の連携と地域のネットワークを活用し、シーズ開発研究者と企業とを結び付け、地域外医療機器製造企業の参画と事業化支援体制により医療機器及び周辺機器・器材を開発・製造する地域体制を創り上げ、医療機器創生拠点形成を推し進める。

### 地域イノベーション戦略

東北大学の豊富な医療機器シーズ、並びに特区等を活用し、産学官金の強い連携により電子機械産業をはじめとする地域企業群に知的財産・人材・資金を投入するとともに、東北大学病院臨床研究推進センターの事業化支援体制による臨床試験・薬事・治験の迅速化を図り、国内外からの企業の誘致と地域企業との連携を促進して、国際競争力を持つ医療機器創生クラスターの形成を強力に推進し、産業集積と雇用の促進を図り、東日本大震災からの復旧・再生・発展を実現する。

### 事業の内容

#### 1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：国立大学法人東北大学）

1) 生体計測機器開発、2) 高精度診断機器開発、3) 高度治療機器開発、4) 機能代替治療機器開発、5) リハビリテーション支援機器開発の5研究課題のもと、東北大学28研究者（平成25年度実績）と招へい研究者5名が共同・連携体制を取り、製造企業とのマッチングを図りながら医療機器シーズの開発研究を進めている。

#### 2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：国立大学法人東北大学）

医療機器製造産業の育成には、医療ニーズ・シーズを理解し、これを製品として具現化できる医療工学技術者の育成が課題となる。東北大学ですで行っているREDEEMプログラムを基に、地域製造技術者の要望、意見を取り入れて新たなプログラムを作成し、実施する。平成25年度は「みやぎ医療機器創生塾」として「医療機器の基本」、「簡単薬事」計6回のセミナーを実施し、これらを動画として無料で配信している。一方、企業経営者、技術指導者を対象としたコーチング理論に基づくプログラムを実施している。

#### 3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：(株)インテリジェント・コスモス研究機構）

1) 工研究者と医研究者、さらには臨床医（医療ニーズ）とのマッチング、2) 地域内異種製造企業間のとりまとめ、3) 研究者と地域企業とのマッチング、4) 地域外の医療機器製造企業と研究者、地域製造企業とのマッチング等を目的として地域連携コーディネータ6名を配置し、知のネットワーク構築を進めている。

#### 4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：国立大学法人東北大学）

東北大学が保有する医療機器開発に必要な研究設備、実験装置の共用化を進める。また、医療現場を理解するためにシーズ開発研究者、企業技術者への医療機器、病院内施設視察会を実施するとともに、シーズ開発研究者と地域企業技術者がお互いの理解を深め、機器開発を強く推進するために、双方向性の視察会を実施している。

